

編 集 後 記

今回、歯学部ニュース編集委員を初めて担当させて頂きました。普段何気なく読んでいた歯学部ニュースが、多くの方の協力の元で作上げられ、またその内容が非常に充実したものであるとあらためて認識させられた次第です。歯学部ニュースは、普段あまり接することのない職員や学生の活動を知るよい交流誌でもあると思います。今後も拝読させて頂きたいと思いますし、また作成に関わる機会があるようでしたらご協力させて頂きたいと思います。最後になりましたが、ご多忙の中、原稿出筆にご協力いただきました皆様方に御礼申し上げます。顎顔面口腔外科学 池田 順行

はじめに、歯学部ニュースの原稿執筆を快く引き受けてくださった先生方、学生の皆様ありがとうございました。今まで何気なく目を通していた歯学部ニュースですが、毎回テーマや内容の選定、原稿を書いてくださる先生方や学生の皆様のご尽力があって、このような立派な冊子にできていることを実感しました。個人的都合で最後の数回は携われずご迷惑をおかけいたしますが、編集会議は何故か楽しいひとときでした。編集長小川先生ご配慮に感謝いたします。他の編集委員の先生方もお疲れ様でした。小児歯科学 河野 承子

今回の歯学部ニュース122号のうち、「歯学部卒業おめでとう」「学会受賞報告」「診療室・講座紹介」「留学生紹介」を担当させて頂きました。ご寄稿くださった皆様には、原稿執筆をご快諾頂きありがとうございました。本年度で卒業される学生の皆さんには、同級生が寄稿された今回の原稿が10年・20年後に一つの思い出を蘇らせる記事になることを期待しております。最後に、締め切りを守ってくださった執筆者の方々、ありがとうございました。口腔生理学 黒瀬 雅之

今回、編集担当の末席に加えて頂いたことで、いわゆる「顔は知っているけど話したことは無い」他分野の先生方と共に編集会議に参加できたことはとても有意義な経験でした。また、歯学科2年生や生命福祉学科の女子学生のもとに、原稿依頼や受け取り、時には催促(?)のために訪ねたのも、おじさんにとっては緊張すると共にいい思い出でした。歯周病科 両角 俊哉

新外来棟の開院や歯学部改修工事など記事の内容には事欠かないタイミングでの歯学部ニュース編集でしたが、さらにミニコラムと題して職員や学生の日常を紹介する新たな企画を盛り込み、誌面の有効活用を試みました。各編集委員には企画の段階から精力的に取り組んでいただき、原稿依頼から回収まで滞りなく仕事が進みましたことに感謝申し上げます。

この歯学部ニュースを通して、多くの方々に新潟大学歯学部が活力のある開かれた学部であることを感じ取っていただければ、編集長としてはこの上ない喜びであります。

予防歯科学 小川 祐司